



サイエンス・カフェ

cience Café

サイエンス・カフェとは？
(Science Cafe, Café Scientifique)

九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンス・カフェ』を開催しています。

第24回 サイエンス・カフェ @九工大情報工学部

●日時：2014年 **10月10日(金)**
18:00~19:30

●場 所：九州工業大学・飯塚キャンパス
ラーニングアゴラ棟 飯塚市川津 680-4

●テーマ：『薬を創るための情報工学』

●ゲスト：あお き しゅんすけ 青木 俊介 氏

(情報工学研究院
生命情報工学研究系
准教授)

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 必要（定員20名）

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電 話：0948-29-7509（平日10:00~17:00）

メール：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

一般の方々が、科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に拡がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。



ゲスト紹介

あお き しゅんすけ
青木 俊介 氏
情報工学研究院
生命情報工学研究系
准教授

近年、薬を創る研究にはコンピューターを用いた情報工学が活用されるようになってきました。

今回のサイエンス・カフェでは、そのような研究の実例を分かりやすくお話させていただきます。病気を引き起こす細菌（バイキン）を薬でやっつける事ができますが、現在、薬が効かない細菌の蔓延がみられ世界規模で大きな問題になっています。この問題を情報工学を用いて解決したい！という研究のお話です。

